

岩手医科大学倫理審査委員会記録

1. 開催日時：2024年1月11日（木）16時30分から17時07分まで
2. 開催場所：矢巾附属病院10階大会議室・内丸1号館3階大会議室（テレビ会議）
3. 出席・欠席者：別紙のとおり
4. 議 事：

(1) 倫理申請に係る審査 iPad

諏訪部委員長の司会進行で、以下のとおり審議した。なお、委員会の開催に先立ち、審査の種類及び審査件数並びに委員会の成立について確認した。

1) 受付番号：MH2023-088（12月審査分）

課 題：7T MRIを用いた軽度認知障害における脳内の鉄濃度・酸素代謝変化に関する研究

申請者：超高磁場MRI診断・病態研究部門 教授 佐々木 真理

研究統括責任者：超高磁場MRI診断・病態研究部門 講師 上野 育子

主任研究者：超高磁場MRI診断・病態研究部門 講師 上野 育子

分担研究者：（別紙参照）

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について質疑応答（出席者：上野講師（主任研究者））のうえ審査した結果、本課題を「承認」とした。

【審議内容】

特になし

2) 受付番号：MH2023-098

課 題：イオンレス®（次亜塩素酸水）の空間噴霧によるエアロゾル感染対策の効果に関する研究

申請者：総合診療医学講座 教授 下沖 収

研究統括責任者：総合診療医学講座 教授 下沖 収

主任研究者：総合診療医学講座 教授 下沖 収

分担研究者：（別紙参照）

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について質疑応答（出席者：下沖教授（主任研究者））のうえ審査した結果、本課題を「継続審査（迅速審査②による再審査）」とした。

【審議内容】

- ・研究計画書 0.3.3.および 3.3.除外基準について、SARS-CoV-2 もしくはインフルエンザ陽性者は部屋の移動を前提としていることから、除外基準に該当するか再度確認のうえ検討すること。
- ・研究計画書 4.2.設定根拠、5.7.解析方法について、解析方法を「カイ二乗検定」に変更しているが、設定根拠にSD表記しており、発生率の平均の差の検定を行うための必要サンプル数の根拠が記載されているので、分析法と予定症例数設定根拠の整合性をとった記載に修正すること。なお、フリーソフト G*Power で計算すると、危険率 α 0.05、検出力 $1 - \beta$ 0.8、効果量 0.3、自由度 1 のカイ二乗検定の必要サンプル数は 88 となり、同様に効果量 0.2 の場合は 197、0.1 だと 785 と算出される。本来はインフルエンザと CoV19 で効果量が異なることが想定されるので、必要サンプル数も異なると思われる。効果量設定の根拠とともに効果量を低く見積もる方（必要サンプル数が多い方）に合わせて同一集団で観察するという記載もあった方がよいと思われるので、再度確認のうえ検討すること。
- ・研究計画書 5.2.1.登録の手順について、「代わりに個人情報とは無関係な番号とを付して加工する」の「と」は誤植と思われるので修正すること。
- ・研究計画書について、インフルエンザの発症を確認した場合の同室者への「予防投与」に関して適切な項目に記載すること。
- ・説明文書 3.この研究の背景と目的について、最終段落「インフルエンザの感染者が少するかを検討する研究です」は「減少するか」の誤植と思われるので修正すること。
- ・（助言）次回以降の申請においては、各申請書類について、申請前に所属長による確認を受

け、文言等を整理し、校正したうえで申請すること。

(2) 報告事項

- 1) 研究実施状況報告書（終了報告・経過報告） 17件 資料4 iPad
諏訪部委員長から、標記の件について資料に基づき報告があった。

【医学部】

承認番号：HG2018-501（2018年7月24日承認）

研究課題名：異型腺細胞（AGC）という細胞診断患者の子宮頸部病変診断における CA-IX, p16, 増殖性マーカーとヒトパピローマウイルス（HPV）による比較解析（GOG-0237）

研究責任者：産婦人科学講座 特任准教授 竹内 聡

報告の種類：終了報告

承認番号：HG2019-008（2019年7月16日承認）

研究課題名：異型腺細胞（AGC）という細胞診断患者の子宮頸部病変診断における CA-IX, p16, 増殖性マーカーとヒトパピローマウイルス（HPV）による比較解析（GOG-0237）

研究責任者：産婦人科学講座 特任准教授 利部 正裕

報告の種類：終了報告

承認番号：HG2020-013（2020年7月8日承認）

研究課題名：異型腺細胞（AGC）という細胞診断患者の子宮頸部病変診断における CA-IX, p16, 増殖性マーカーとヒトパピローマウイルス（HPV）による比較解析（GOG-0237）

研究責任者：産婦人科学講座 特任准教授 利部 正裕

報告の種類：終了報告

承認番号：HG2021-013（2021年6月24日承認）

研究課題名：異型腺細胞（AGC）という細胞診断患者の子宮頸部病変診断における CA-IX, p16, 増殖性マーカーとヒトパピローマウイルス（HPV）による比較解析（GOG-0237）

研究責任者：産婦人科学講座 特任准教授 利部 正裕

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2020-053（2020年7月16日承認）

研究課題名：アジア地域のセリアック病患者の割合を推定するための試験的調査

研究責任者：内科学講座消化器内科分野 教授 松本 主之

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2020-123（2021年1月15日承認）

研究課題名：VEGF 阻害薬による腎障害と血漿中エンドセリン-1 レベルの関連性ならびに新たなバイオマーカー探索

研究責任者：薬剤部 薬剤部長 工藤 賢三

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2021-001（2021年4月26日承認）

研究課題名：被検者自らが行う呼吸機能検査システムの開発

研究責任者：臨床検査医学講座 教授 諏訪部 章

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2021-011（2021年5月26日承認）

研究課題名：食道癌術前化学療法の奏功と再発形式の関連を明らかにするための多施設共同後

ろ向き観察研究 略称：術前化学療法の奏功と再発形式に関する研究

研究責任者：外科学講座 准教授 秋山 有史

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2021-082（2021年8月20日承認）

研究課題名：ロボット支援下経皮的冠動脈インターベンション施行例と従来の経皮的冠動脈インターベンション施行例の比較に関する観察研究

研究責任者：内科学講座循環器内科分野 助教 肥田 頼彦

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2021-103（2021年9月21日承認）

研究課題名：NICU オンライン面会に関するアンケート調査

研究責任者：小児科学講座 教授 赤坂 真奈美

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2022-013（2022年4月26日承認）

研究課題名：羊水過多妊婦における染色体異常の予測因子の検討

研究責任者：小児科学講座 教授 赤坂 真奈美

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2022-028（2022年6月14日承認）

研究課題名：異型腺細胞（AGC）という細胞診断患者の子宮頸部病変診断における CA-IX, p16, 増殖性マーカーとヒトパピローマウイルス（HPV）による比較解析（GOG-0237）

研究責任者：産婦人科学講座 特任准教授 利部 正裕

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2022-085（2022年9月28日承認）

研究課題名：Echo-Dynamography 法を用いた僧帽弁形成術の手術前と手術後における左室内腔渦流の後方視的研究

研究責任者：臨床検査医学講座 教授 諏訪部 章

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2022-146（2023年2月22日承認）

研究課題名：SAPIEN3 が留置された患者における TAV in TAV の冠動脈閉塞リスクの検討

研究責任者：内科学講座循環器内科分野 助教 二宮 亮

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2022-148（2023年2月27日承認）

研究課題名：LRG を用いた関節リウマチの疾患活動性評価

研究責任者：内科学講座膠原病・アレルギー内科分野 教授 仲 哲治

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2023-015（2023年6月28日承認）

研究課題名：異型腺細胞（AGC）という細胞診断患者の子宮頸部病変診断における CA-IX, p16, 増殖性マーカーとヒトパピローマウイルス（HPV）による比較解析（GOG-0237）

研究責任者：産婦人科学講座 特任准教授 利部 正裕

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2023-044（2023年9月7日承認）

研究課題名：イオンレス®（次亜塩素酸水）の空間噴霧による健康影響調査

研究責任者：総合診療医学講座 教授 下沖 収

報告の種類：終了報告

2) 迅速審査及び承認済研究課題の実施計画変更・追加申請の審査結果報告報告 12月19件
資料5 iPad

諏訪部委員長から、標記の件について資料に基づき報告があった。また、承認となっていない研究課題が計5件ある旨あわせて報告があった。

以上

迅速審査（新規申請：1月11日判定分） 審査結果

倫理審査委員会規程に基づいた迅速審査により、数名の倫理委員会委員による書面審査にて、下記の申請案件を判定した。

1) 受付番号：MH2023-099

課 題：急性肝障害の予後因子同定のための多施設レジストリ研究

申請者：内科学講座消化器内科分野 特任教授 黒田 英克

研究統括責任者：内科学講座消化器内科分野 特任教授 黒田 英克

主任研究者：内科学講座消化器内科分野 特任教授 黒田 英克

分担研究者：（別紙参照）

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、3名の倫理委員会委員（石垣副委員長、原田英光委員、高橋弘江委員）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- ・申請書 6.7 について、使用する研究費が研究計画書の内容と相違しているため、確認のうえ修正すること。
- ・申請書 8.1 について、個人情報の加工方法は②ではなく、③が該当すると思われるため、確認のうえ修正すること。
- ・申請書 9.1.3.2 について、該当する項目をチェック、記載すること。
- ・申請書 11.4 について、本項目は該当なしに修正すること。
- ・計画書全体について、他機関との情報の授受についての記載要件を満たして新たに項目を設けて記載すること。（申請書 13.1.2 で提供に関する記録（任意様式）及び届出書（任意様式）を作成して保管するとしているため、項目名（例）：「試料・情報の授受に関する記録の作成・保管」、記載内容（例）：「共同研究機関等と試料・情報の授受を行うため、別途、記録を作成する。なお、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第8の3により、所定の期間(他機関に提供する場合は提供日から3年間、提供を受ける場合は当該研究の終了が報告された日から5年間)の保管を厳守する。」)などの内容に検討のうえ修正すること)
- ・計画書全体について、「施設」と「機関」の用語の統一で「機関」の記載に統一した方が良いと思われるため、修正すること。（該当箇所：計画書 2.3.2、5.1、8、9.2、18、19、20、22、24）
- ・計画書について、本研究で取り扱う情報の登録方法の記載がないため、項目を設けて記載すること（倫理審査委員会 HP で公開している様式を参考にする）
- ・計画書の表紙について、作成履歴の Ver1.1 は「改正」または「改訂」に修正すること。
- ・計画書 5.4 について、未成年を本研究の対象としない場合、除外基準として記載が必要と思われるため、確認のうえ記載すること。
- ・計画書 7.1 について、倫理指針の年月日は最新の日付ではないため、最新の日付に修正すること（または年月日自体削除しても可）
- ・計画書 7.5 について、本研究でどのような状態の対象者の場合に代諾による同意が想定されるのかを追記すること。（肝性脳症で十分な判断能力がないと判断される方など）
- ・計画書 7.5 について、当方で代諾者を選ぶような記載に読み取れるため、確認のうえ修正すること。
- ・計画書 9.1 について、現在の記載では不十分なため、個人情報の加工方法などについても記載すること。（倫理審査委員会 HP で公開している様式を参考にする）
- ・計画書 15.について、計画書 7.1 と同じ内容の記載と思われるため、本項目は削除すること。（目次についても更新すること）
- ・計画書 23.について、「個人を特定するため表」の記載は「個人を特定するための情報（表）」などに修正すること。
- ・計画書 25.について、計画書 23.と同じ内容の記載と思われるため、本項目は削除すること。

- と。(目次についても更新すること)
- ・計画書の Appendix について、「説明文章」の記載は「説明文書」に修正すること。
- ・説明文書の冒頭について、「説明文章」の記載は「説明文書」に修正すること。
- ・説明文書の冒頭について、Ver1.1 は「改正」または「改訂」に修正すること。
- ・説明文書 2. の 6) について、「330 日後」の記載は誤植と思われるため、確認のうえ修正すること。
- ・提供に関する届出書について、旧様式のため、最新の様式で作成して倫理申請システムに添付すること。
- ・提供に関する記録について、最新の様式で作成して倫理申請システムに添付すること。

2) 受付番号：MH2023-100

課 題：圧評価による ECMO の溶血進行度に関する観察研究

申請者：内科学講座循環器内科分野 教授 森野 禎浩

研究統括責任者：内科学講座循環器内科分野 教授 森野 禎浩

主任研究者：内科学講座循環器内科分野 教授 森野 禎浩

分担研究者：(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、3名の倫理委員会委員(丹野副委員長、蛭崎副委員長、黒田英克委員)による書面審査を行った結果、本課題を継続審査(迅速審査②による再審査)とした。

【審議内容】

- ・申請書 14.2 について、本研究は重篤な有害事象発生の可能性はないため、チェックを修正すること。
- ・計画書について、医局等の内線番号を 6413 に統一すること。(該当箇所：計画書 5.2.3、9.1、9.3)
- ・計画書 6.1 について、(2) の記載は削除して、6.3 にまとめてはどうか、検討すること。
- ・自己申告内容・大学管理情報と記載内容とが異なっている。研究計画書および、説明文書に状況を整理して従事する研究者と本研究に関係する企業との利益相反を判断できるよう記載すること。(条件の詳細：現在、森野教授はテルモ株式会社から受託研究費、奨学寄付、治験収入等の受け入れはなく、講演等謝金の受け入れがあるため、修正すること)
- ・研究者が利害関係企業から講演等謝金を得ていることから研究結果に偏りが発生しないよう留意すること。(助言：講演等謝金)

3) 受付番号：MH2023-101

課題名：2つの異なる画像評価方法から算出された冠動脈石灰化スコアを比較する研究

申請者：内科学講座循環器内科分野 教授 森野 禎浩

研究統括責任者：内科学講座循環器内科分野 准教授 石田 大

主任研究者：内科学講座循環器内科分野 准教授 石田 大

分担研究者：(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、3名の倫理委員会委員(櫻庭実委員、大橋綾子委員、遠藤寿一委員)による書面審査を行った結果、本課題を継続審査(迅速審査②による再審査)とした。

【審議内容】

- ・計画書 5.3.2 について、2.基本情報の「生年月日」は研究に必要な情報か確認すること。(修正する際は CRF の項目についても修正すること)
- ・計画書 8.2.1 について、本研究でどのような対象者の場合に代諾者が想定されるかわかるように追記すること。(必要に応じて、申請書 10.も修正すること)

4) 受付番号：MH2023-102

課 題：最新型 320 列 CT および深層学習を用いた超解像画像再構成技術による病変抽出に関する前向き観察研究

申請者：放射線医学講座 教授 吉岡 邦浩

研究統括責任者：放射線医学講座 教授 吉岡 邦浩

主任研究者：放射線医学講座 教授 吉岡 邦浩

放射線医学講座 講師 折居 誠

キャノンメディカルシステムズ株式会社 CT開発部 部長 信藤 康孝

分担研究者：(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、3名の倫理委員会委員(板持広明委員、高橋寛副委員長、丹野副委員長)による書面審査を行った結果、本課題を継続審査(迅速審査②による再審査)とした。

【審議内容】

- ・本研究で使用する企業等から受け入れた機器等を研究計画書および、情報公開文書へ適切に開示すること(条件の詳細：キャノンメディカルシステムズ株式会社から受け入れ予定の機器等について記載すること)
- ・企業等から本研究に関わりのある機器等の提供は契約を締結すること。研究に対する利益相反があること、利害関係企業から受託研究費を得ていることから研究結果に偏りが発生しないよう留意すること。本研究と関わりのある企業等の研究者が研究に関与する場合、原則として企業等の研究者に被験者のリクルート及びデータ管理、モニタリング、統計・解析業務には関与させないこと(助言：企業等から機器の提供、受託研究費、企業等に在籍している者の従事)

5) 受付番号：MH2023-103

課題：コアキシャル法によるフルコア型生検針を用いたCTガイド下生検の後方視的研究

申請者：放射線医学講座 教授 吉岡 邦浩

研究統括責任者：放射線医学講座 准教授 加藤 健一

主任研究者：放射線医学講座 准教授 加藤 健一

分担研究者：(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、3名の倫理委員会委員(石垣副委員長、原田英光委員、高橋弘江委員)による書面審査を行った結果、本課題を継続審査(迅速審査②による再審査)とした。

【審議内容】

- ・申請書13.2.2について、計画書では研究に用いられる情報は保存するとなっているため、必要項目を記載すること。
- ・計画書0.2について、「有害事象につき」の記載は誤植と思われるため、修正すること。
- ・計画書0.3.3について、適格基準の反対条件のため、現在の記載は削除して「参加拒否の申出があった患者」などに修正すること。(計画書3.3についても同様)
- ・計画書5.3.1について、本研究に用いる情報の取り扱いについても追記すること。(倫理委員会HPに掲載している様式などを参考にすること)
- ・計画書8.3.3について、安全管理方法(物理的安全管理、技術的安全管理、組織的安全管理、人的安全管理)を倫理委員会HPに掲載している様式などを参考に追記すること。
- ・情報公開文書について、本研究で得られた情報の二次利用の有無を記載すること。
- ・情報公開文書について、本研究を行うことで予想される将来的な利益と不利益を記載すること。

6) 受付番号：MH2023-104

課題：岩手医科大学附属病院児童精神科の診療実績調査：児童思春期青年期患者の生育歴と臨床症状・病態の関連について

申請者：神経精神科学講座いわてこどもケアセンター 教授/副センター長 八木 淳子

研究統括責任者：神経精神科学講座いわてこどもケアセンター 教授/副センター長 八木 淳子

主任研究者：神経精神科学講座いわてこどもケアセンター 教授/副センター長 八木 淳子

分担研究者：（別紙参照）

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、3名の倫理委員会委員（伊藤(智)副委員長、山田浩之委員、佐々木美香委員）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査による再審査）とした。

【審議内容】

- ・申請書 6.について、「その他の観察研究」のチェックと記載は削除すること。
- ・申請書 13.2.2 について、計画書 8.3.4.1 に研究に用いる情報は保管すると記載があるため、修正すること。
- ・計画書 0.3.3 について、3.3 と記載を統一すること。

7) 受付番号：MH2023-105

課 題：強度行動障害のある人の豊かな地域生活を実現する「地域共生モデル」の理論の構築と重層的な支援手法の開発のための研究:トラウマと行動障害の関連の検討（トラウマ研究）

申請者：神経精神科学講座いわてこどもケアセンター 教授／副センター長 八木 淳子

研究統括責任者：神経精神科学講座いわてこどもケアセンター 教授／副センター長 八木 淳子

主任研究者：神経精神科学講座いわてこどもケアセンター 教授／副センター長 八木 淳子
植草学園大学 副学長 野澤和弘

分担研究者：（別紙参照）

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、3名の倫理委員会委員（岸副委員長、伊藤奈央委員、佐々木美香委員）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査による再審査）とした。

【審議内容】

- ・計画書 6.4 について、本学が行う調査件数に修正すること。
- ・申請書 11.9 について、二次利用の可能性があるとされているため、本項目は「可能性あり」ではないか、確認のうえ修正すること。
- ・申請書 13.1.2 の A について、当初記載していた診療情報は必要と思われるため、「アンケート記録（診療情報含む）」の括弧のみを削除した記載に修正すること。（アンケート記録と診療情報は別の情報となるため、分けた記載にすること）
- ・申請書 13.1.2 の B について、提供先の機関のみの記載に修正すること。
- ・申請書 13.2.2 の A について、当初記載していた診療情報は必要と思われるため、「アンケート記録（診療情報含む）」の括弧のみを削除した記載に修正すること。（アンケート記録と診療情報は別の情報となるため、分けた記載にすること）
- ・申請書 13.2.2 の F の理由について、「対象者から参加拒否の申出あった際に個人を特定するため」などに修正すること。
- ・申請書 16.について、「植草学園大学（代表）及び岩手医科大学（分担）に帰属する」と回答があったため、修正すること。
- ・説明文書 2.について、本研究の対象者の記載に「岩手医科大学附属病院に通院中」などの基準が必要と思われるため、確認のうえ修正すること。（Appendix にも同様の記載が必要と思われるため、併せて確認すること）
- ・説明文書 8.について、学内研究者は「研究協力者」ではなく、「分担研究者」と思われるため、確認のうえ修正すること。
- ・説明文書 9.について、診療（保険診療）の提供を行う旨についても記載すること（倫理委員会 HP に掲載している様式などを参考にすること）
- ・Appendix11.について、情報の二次利用の可能性を確認すること。（申請書 11.9 の記載と同様）
- ・Appendix12.について、研究課題は冒頭に記載しているのが一般的と思われるため、検討のうえ、修正すること。
- ・Appendix17.について、診療（保険診療）の提供を行う旨についても記載すること（倫理委

員会 HP に掲載している様式などを参考にすること)

- Appendix18. について、大元の研究と、本学の分担研究の情報の授受について、それぞれ分けて記載すること。
- Appendix18. の (1) について、提供先の機関のみの記載に修正すること。
- 説明文書 10. について、診療情報の授受は無いか確認のうえ、追記すること。

以上

承認済み研究課題の実施計画変更・追加申請（1月11日判定分）審査結果

倫理審査委員会規程に基づいた迅速審査により、諏訪部倫理審査委員会委員長の判断で以下の申請を承認した。

- 1) 受付番号：HG2019-028
課題名：臍帯血DNAメチル化レファレンスパネルの作成
変更内容：
 - ・研究期間の変更（2026年03月31日）
 - ・文書等の変更（研究実施計画書）
- 2) 受付番号：HG2020-023
課題名：アルツハイマー病の未病・早期診断のためのDNAメチル化バイオマーカーの開発と検証
変更内容：
 - ・研究期間の変更（2025年03月31日）
- 3) 受付番号：H28-21
課題名：電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究
変更内容：
 - ・文書等の変更（研究計画書）
 - ・その他（参加施設・研究責任者の追加・変更、参加施設研究者の所属・役職変更）
- 4) 受付番号：MH2018-549
課題名：初発子宮頸がん患者を対象とした治療後のセクシュアリティの変化に関する前向きコホート研究（JGOG9004）
変更内容：
 - ・研究期間の変更（2025年03月31日）
 - ・文書等の変更（研究実施計画書 Ver1.5→Ver1.6）
- 5) 受付番号：MH2019-182
課題名：糖尿代謝異常合併妊娠と肥満妊婦の妊娠転帰に関する後方視的観察研究
変更内容：
 - ・その他（2.主任研究者（学外）の役職変更）
- 6) 受付番号：MH2020-080
課題名：経皮的左心耳閉鎖システムを用いた非弁膜症性心房細動患者の塞栓予防の有効性と安全性に関する多施設レジストリー研究—J-LAAO—
変更内容：
 - ・研究期間の変更（2032年03月31日）
 - ・文書等の変更（研究計画書）
- 7) 受付番号：MH2020-108
課題名：ロボット支援腎部分切除術に関する臨床研究
変更内容：
 - ・その他（主任研究者の変更）
- 8) 受付番号：MH2020-166
課題名：フォンタン関連肝障害発症における肝循環動態の意義～後方視的検討～
変更内容：
 - ・研究期間の変更（2025年12月31日）
 - ・研究対象（被験者）の人数変更等
- 9) 受付番号：MH2020-219
課題名：先天性心疾患における脳性ナトリウム利尿ペプチドと心血管機能との関連
変更内容：
 - ・研究期間の変更（2025年12月31日）
 - ・研究対象（被験者）の人数変更等
- 10) 受付番号：MH2021-032

課題名： JIVROSG/J-SUPPORT 1903 有痛性骨転移に対する緩和的動脈塞栓術の即時的有効性及び安全性検証試験

変更内容： ・その他（研究分担施設の代表者変更など）

11) 受付番号： MH2021-097

課題名： Fontan 術後遠隔期における Holter 心電図と心血管機能の関連

変更内容： ・研究期間の変更（2025年12月31日）

・その他（分担研究者の削除）

12) 受付番号： MH2021-118

課題名： 重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する乳頭筋に介入した僧帽弁形成術の有用性に関する多施設共同研究

変更内容： ・研究期間の変更（2026年12月31日）

13) 受付番号： MH2022-053

課題名： スtent内石灰化結節の予測因子について確認する単施設後ろ向き観察研究

変更内容： ・研究期間の変更（2024年12月31日）

・文書等の変更（研究計画書・情報公開文書）

14) 受付番号： MH2023-009

課題名： 長期地域医療臨床実習におけるアンケート調査解析：後ろ向き観察研究

変更内容： ・研究期間の変更（2024年08月31日）

・登録期間の変更

・研究対象（被験者）の人数変更等

15) 受付番号： MH2023-070

課題名： チームアプローチ促進に必要な看護職のクリティカルシンキング志向性とプロアクティブ行動に関する実態調査

変更内容： ・文書等の変更（研究計画書、説明文、依頼文）

以上